



AR

第32回フェブラリーS(GI) 優勝馬 コパノリッキー

Mémoires 2015 フェブラリーS

ライバル不在で余裕の連覇

前年のフェブラリーSを、単勝配当が実に2万7210円を記録する最低人気で制して万人を驚かせたコパノリッキー。その後、かしわ記念、JBCクラシックと二つのJpnIを制覇したほか、帝王賞と東京大賞典で2着に入り、GI勝利がフロックではなかったことを証明して、ダート戦線をリードする1頭となつた。前哨戦の東海Sも圧勝し、ライバルのホッコータルマエがいない2015年のフェブラリーSで、ディフェンディングチャンピオンの彼が断然の主役として圧倒的1番人気となったのは当然のことだった。

支持率はコパノリッキーに離されたものの、2番人気に推されたのは、武藏野Sを制するなど東京のダート得意とするワイドバッハ。マイルチャンピオンシップ南部杯(JpnI)に勝ち鞍があるベストウォリア、2012年の東京大賞典勝ち馬である古豪ローマンレジェンド、前年のみやこSで重賞タイトルを手に入れたインカンテーションらがそれに続いた。

そして迎えた大一番。アドマイヤロイヤルが果敢に先頭を奪うところ、ややスタートで立ち遅れたコパノリッキーだったが、鞍上の武豊騎手に手綱をしごかれて2番手のポジションを確保。インカンテーションはその直後に位置し、ベストウォリアは中団、ワイドバッハとローマンレジェンドは後方をそれぞれ進んだ。

馬群が一団となりながら4コーナーを回ると、抜群の手応えで直線へ向いたコパノリッキーが一気に先頭へ躍り出てゴールを目指す。後続からインカンテーションやベストウォリアらがそれをを目指して末脚を伸ばすが、いったん先頭を奪った王者は持ち前のしづとい粘りを發揮。東京の長い直線でも先頭を譲らずゴールを駆け抜け、本レース史上初の2連覇を成し遂げたのだった。

コパノリッキーはJBCクラシックも制し、2015年度JRA賞の最優秀ダートホースを受賞。いまも変わらぬ活躍を続けているのはご存知のとおりだ。

またこのあと、12月のチャンピオンズカップでコパノリッキーやホッコータルマエといった牡馬の強豪を一蹴して頂点に立つことになる牝馬のサンビスタは、このとき中団から差を詰めて0秒4差の7着となっていたことも記憶されるべきだろう。



レース前半は一団と流れ、最後は4コーナーで馬群は速い進んだが、



▲鞍上の武豊騎手はゴールドアリュール、カネキリ、ヴァーミリアンに続きこのレース4勝目。

第32回フェブラリーS(GI)

2/22 東京競馬場 1600m(ダート・左) 曇・良 16頭

着順	馬名	性齢	斤量	騎手	調教師	タイム	着差	人気	通過順位
1	コパノリッキー	牡5	57	武 豊	村山 明	1:36.3	①	2/2	
2	インカンテーション	牡5	57	内田 博幸	羽月 友彦	1/2	⑤	4/3	
3	ベストウォリア	牡5	57	戸崎 圭太	石坂 正	3/4	③	8/8	
4	グレープブランデー	牡7	57	北村 宏司	安田 隆行	1/2	⑪	4/5	
5	ローマンレジェンド	牡7	57	岩田 康誠	藤原 英昭	ハナ	④	13/14	
6	ワイドバッハ	牡6	57	蛯名 正義	庄野 靖志	ハナ	②	11/11	
7	サンビスタ	牡6	55	C. デムーロ	角居 勝彦	1/2	⑥	8/10	
8	カゼノコ	牡4	57	浜中 俊	野中 賢二	クビ	⑦	15/11	
9	ワンダーアキュート	牡9	57	F. ベリー	佐藤 正雄	クビ	⑩	4/8	
10	コーリンベリー	牡4	55	松山 弘平	柴田 政見	アタマ	⑫	10/11	
11	ハッピースプリント	牡4	57	吉原 寛人	森下 淳平	クビ	⑧	11/14	
12	アドマイヤロイヤル	牡8	57	横山 典弘	橋田 満	アタマ	⑯	1/1	
13	キョウワダッフィー	牡7	57	福永 祐一	笹田 和秀	2 1/2	⑯	2/3	
14	レッドアルヴィス	牡4	57	勝浦 正樹	アタマ	⑨	4/5		
15	シリクフォーチュン	牡9	57	江田 照男	藤沢 則雄	3/4	⑯	16/5	
16	サトノタイガー	牡7	57	三浦 皇成	小久保 智	ハナ	⑯	14/14	

単勝④210円 優勝④130円 ⑬300円 ⑩190円 枠連(2-7)1,260円

馬連④-⑩1,570円 馬単④-⑩2,100円 ワイド④-⑩650円 ④-⑩390円 ⑩-⑩1,110円

3連複④-⑩-⑩13,060円 3連単④-⑩-⑩12,370円

ハロンタイム 12.3-10.6-11.4-12.6-13.1-12.3-11.5-12.5

通過タイム 600m 34.3-38.000m 46.9-1000m 1:00.0-1200m 1:12.3-1400m 1:23.8

優勝馬 コパノリッキー

2010.3.24生 父ゴールドアリュール 母コパノニキータ 母の父ティンバーカントリー
高木・ヤナガワ牧場生産 馬主:小林祥晃氏